

見事に輝いた7色の元気!



新型コロナウイルスの影響で、様々な制限がある中で、よく頑張って体育大会を成功させました。特に、学年マスゲームは、夏休み前からダンスリーダーの人たちが知恵を絞って振り付けを考え、苦手な人も一生懸命に取り組み、難しいダンスを見事に踊り切りました。

協力のバトンをつないだリレー競技!



リレー種目	男女混合	女子4×100	男子4×200	女子スウェーデン	男子スウェーデン
第1位	6組	5組	6組	1組	1組
第2位	7組	1組	2組	5組	3組
第3位	3組	2組	4組	6組	4組



今年は残念ながらクラス全体で争う学年競技や綱引きがありませんでしたが、その分、リレー競技が白熱し、力一杯走り抜けました。勝ち負けだけでなく、お互いの健闘をたたえ合う姿があり、微笑ましい限りでした。

なんで・・・なんで?

最近、分からないことに対して正直になんで?と疑問を唱えてくれる人が増えています。そのこと自体はとてもよいことであり、わからないことをわからないままにするよりは、まず自分が何をわかっていないかを知ることから勉強も始まるものだと思います。



ただ、時折気になる疑問の投げかけをしてる人がいると聞いています。本当にわかろうとして聞いている疑問なのか?自分の我を通すためだけの質問責めなのか?と思うような場面です。

本当にわからないからわかろうとするなら、まず自分の頭でしっかりと考えてみることも大事です。その上でわからないようなら、先生たちは親身になって教えてくれるでしょう。また、聞く場面というのがあります。特にルール上のことなどは、全体のことを考えて設定されていることがほとんどですから、自分中心で考えてしまうとなかなか理解できないでしょう。でも、全体を動かす立場から考えると、すぐに行動してもらわないと困る場面というのがあるのです。集団で生活する学校という場は、どうしても個人の自由が制限されることがあります。これは少し難しいかもしれませんが、3年生の公民で習う「公共の福祉」というものにつながっています。そもそも、全ての人の自由になりたいことが同時に成立するわけはありませんよね。だから、少しでも多くの人の利益になるように物事というのは決められていくものなのです。そこをしっかりと理解した上で、それでもわからないことがあれば、遠慮せずに聞いてください。